

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

News

No.63

平成31年1月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 2
- ・ 講演会のご案内 2

2019年 新年の挨拶 3

病院のトピックス

- ・ 第45回 法円坂地域医療フォーラム 5
- ・ 第64回 おおさか健康セミナー開催報告 6
- ・ 第72回 国立病院総合医学会参加報告 8
- ・ 平成30年度第8回大阪市中央区地域ケア
研究集会への参加報告 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 11
- ・ NHO PRESS ～国立病院機構通信～について 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

地域医療連携室 平成31年1月発行 63号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <http://www.onh.go.jp/>

[E-mail] comonh@onh.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
H31.1.1	整形外科医師	石黒 博之	採用
H31.1.1	脳神経外科医師	木谷 知樹	採用
H31.1.1	産婦人科医師	藤上 友輔	採用

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
H30.10.31	感染症内科医師	伊熊 素子	退職
H30.12.31	整形外科医師	古家 雅之	退職
H30.12.31	脳神経外科医師	木嶋 教行	退職
H30.12.31	産婦人科専修医	矢口 愛弓	退職

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
平成31年2月2日(土) 14:00～16:30	第65回おおさか健康セミナー	テーマ：乳がん診療up-to-date2019 担当：形成外科・乳腺外科	一般市民
平成31年2月9日(土) 15:00～17:30	第46回法円坂地域医療フォーラム	テーマ：HIV感染症・先天性凝固異常症 担当：感染症内科	医師及び 医療従事者

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅⑩号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

2019年 新年の挨拶



明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はあたたかいご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、皆さま方のご多幸・ご繁栄をお祈りいたしております。

さて、昨年は第7次大阪府保健医療計画に基づき、大阪市二次医療圏の公的・私的病院院長が一同に会し将来のあるべき医療供給体制について、それぞれの現状と未来構想につき意見交換、情報共有しました。当院は地域における「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等の高度急性期・急性期医療を提供すると共に、特別な医療需要に対する在宅医療も提供し、地域とのつながりを益々深めていきたいと考えています。ひきつづき、医師・医療者向けの「法円坂地域医療フォーラム」や「緩和ケアセミナー」、市民向けの「おおさか健康セミナー」などを定期的で開催いたします。また未来の医療人を育てるために、中学生・高校生向けに「アドベンチャーHospital in 大阪医療センター」を毎年行い、大変好評です。

また、昨年10月より外来インターネット個人医師枠予約も本格的に開始しました。登録医・連携医の先生方にはよりスムーズな外来予約が可能となっています。是非ご活用頂ければ幸いです。また、CT・MRIにつきましては、直接の予約と翌日の所見返信をしております。救急対応については一昨年以来飛躍的に受け入れ患者数が増加しております。今後共「断らない救急」を合言葉にできるだけ多くの患者を受け入れ地域の救急医療にも貢献してまいりたいと思います。

当院は従来より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ診療近畿ブロック拠点病院、臨床研修指定病院など種々の指定を受け、国が実施しなければならない医療を国に代わり地域医療において実施するという大きな使命を担っております。その他にも、緊急災害医療棟や非常用備蓄庫を備え、西日本災害医療拠点病院、大阪府災害拠点病院、厚生労働省医政局災害医療対策室DMAT事務局など、災害に対する取り組みも積極的に行っています。

我々は専門性の高い良質の医療を提供できていると自負しています。この特長を生かし、更なる医療の質の向上、地域への還元をさらに進めていきたいと考えております。また診療のみならず、教育・研修、臨床研究、情報発信についてもこれまでの活動を継続させ、より一層発展させていく所存です。

新しい元号を迎える本年も、ご支援・ご援助のほどよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 院長 是恒 之宏

2019年 新年の挨拶



新年おめでとうございます。

平素より地域医療連携の充実にご協力いただきありがとうございます。

病診連携の重要性がますます高まっている現状、大阪医療センター地域医療連携室では、診察予約や情報発信や共有、医療相談などに専用の担当者を配置して業務を行っています。

診察予約では、診療、画像検査、セカンドオピニオン等の予約を承っております。また従来のFAXによる診察予約に加えて、外来インターネット予約サービスを開始して1年が経過し、おかげさまでご利用が増えてきています。昨年10月からは医師指定予約も開始しました。よりスムーズな外来予約が可能となっておりますので是非ご利用ください。

情報発信として、本誌ONHニュースを年4回発行し、新任医師の紹介や外来担当医の変更等の情報をお届けしておりますとともに、当院の専門性の高い最新医療等の情報を発信してまいります。また、本年も医師・医療者向けの学術講演会「法円坂地域医療フォーラム」、市民向け講座「おおさか健康セミナー」を定期的に開催してまいります。

医療相談室では医療ソーシャルワーカーが患者さんの療養上の不安や悩みに対応しています。またがん相談支援センターではがん患者さんやご家族のさまざまなご相談にも対応しており、そのニーズはますます高まっております。

旧年中に賜りましたご支援に感謝申し上げますとともに、本年も大阪医療センターとの地域連携にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 地域医療連携推進部長 巽 啓司

第45回 法円坂地域医療フォーラム

国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科 科長 巽 啓司

平成30年10月27日（土）午後3時から当院の災害医療棟にて、第45回法円坂地域医療フォーラムを開催いたしました。院内外合わせて24名の聴衆にご参加いただき、『産婦人科 up to date』のテーマで、婦人科癌に対する治療と最新の腹腔鏡下手術を中心に講演させていただきました。秋晴れの土曜日の午後でしたが、多数の先生方のご出席のもと、無事開催することができました。

第1部は、まず科長より当院産婦人科の沿革や現在の診療内容、医師の状況、最近の婦人科治療やがん統計の動向について簡単に紹介した後、講演に移りました。最初に飛梅孝子医師から、「ここまで来ています、腹腔鏡手術の適応～QOLと侵襲と確実性～」の演題で、良性疾患に対する腹腔鏡手術の実際の動画を交えて講演いたしました。次に矢口愛弓医師より、当院での婦人科癌治療成績について、お話をさせていただきました。当科には進行癌が数多く紹介されてきますので、進行癌の割合が高いですが、全国水準の成績であることを紹介いたしました。

第2部では松本久宣医師より「卵巣癌の最新治療」について講演いたしました。近年この分野は大変進歩しており、現在卵巣癌に対する化学療法の標準となっているTC Bev療法が確立される経緯、ペバシズマブの作用機序、卵巣癌に対する有効性について紹介いたしました。また今年の医学会最大のトピックスであろう、本席特別教授の

第45回 法円坂 地域医療フォーラム
主催：「法円坂 地域医療フォーラム」運営協議会

テーマ 「産婦人科up to date」

日時：平成30年10月27日（土）
15：00～17：30（受付開始 14：30）
会場：大阪医療センター 緊急災害医療棟2階 研修室

【司会】 国立病院機構 大阪医療センター 地域医療連携推進部長 巽 啓司

1. 開会挨拶
国立病院機構 大阪医療センター 院長 楚恒 之宏

2. 講演

【第1部】 国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科 科長 巽 啓司
「大阪医療センターの産婦人科について」
 国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科 科長 巽 啓司
「ここまで来ています、腹腔鏡手術の適応～QOLと侵襲と確実性～」
 産婦人科 医師 飛梅 孝子
「当院での婦人科癌治療成績」
 産婦人科 医師 矢口 愛弓

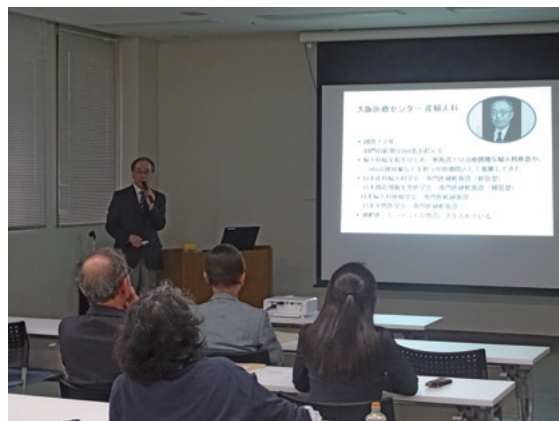
【第2部】 国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科 医師 松本 久宣
「卵巣癌の最新治療」
 国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科 医師 松本 久宣
「腹腔鏡Advanced surgery ～悪性腫瘍へ～」
 産婦人科 医師 飛梅 孝子

3. 閉会挨拶
国立病院機構 大阪医療センター 統括診療部長 三田 英二

・参加費無料 ・当日受付可 ・大阪府医師会生涯教育研修指定申請中
申し込み・お問い合わせ：大阪医療センター地域医療推進課 教直 06-6946-3516

ノーベル医学生理学賞受賞に関連して、卵巣癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療について、京都大学での医師主導治験の紹介、近い将来の卵巣癌治療への適用の可能性について話しました。続いて再び飛梅孝子医師から、「腹腔鏡Advanced surgery ～悪性腫瘍へ～」として、子宮頸癌や子宮体癌へと適応拡大されてきた腹腔鏡手術の実際の動画を交えて講演いたしました。最後に最新の腹腔鏡下子宮脱手術についてビデオを供覧させていただきました。

当日ご参加いただきました地域の先生方に心より感謝申し上げます。またご挨拶や座長の労をお取りいただいた院長、統括診療部長の先生方、また事前、当日と早くからご準備いただいた事務部スタッフの方々に深謝いたします。



第64回 おおさか健康セミナー開催報告

国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病内科 医師 光井 絵理

第64回おおさか健康セミナーを、平成30年10月20日午後2時から大阪医療センター災害医療棟3階の講堂で開催しました。今回はテーマを『糖尿病の合併症～神経障害・腎症を中心に～』とし、糖尿病内科が担当しました。まず、当院地域医療連携推進部長の巽啓司医師が開会の挨拶を行い、座長を糖尿病内科科長の瀧秀樹医師が行いました。

講演の第1部は、「糖尿病が神経に与える影響とは」というテーマで、糖尿病内科の益田貴史医師が担当しました。神経障害を末梢神経障害と自律神経障害に分け、それぞれの診断と治療に関して詳しい説明がありました。また、神経障害により実際に起こった足病変の写真を交えながらの話もあり、神経障害の怖さを実感することができたと思います。

講演の第2部は、「足を守るためにしてほしいこと」のテーマで、当院糖尿病看護認定看護師の福山雅代看護師が担当しました。福山看護師は、当院で唯一の糖尿病看護認定看護師で、フットケア外来での足のケアや病棟での糖尿病患者の療養や指導に積極的に関与しています。3大合併症と足の関係や、足のセルフケアの方法に関する分かりやすい丁寧な説明がありました。

講演の第3部は、「糖尿病で腎臓が悪くなるってどういうこと？」と題して、糖尿病内科医師の光井絵理より話をさせて頂きました。慢性透析患者数は年々増加しており、主要原疾患として糖尿病性腎症が占める割合が一番多くなっています。まず糖尿病のコントロールが悪い状態が続くと腎臓でどのようなことが起こるのか説明しました。ま

第64回

おおさか健康セミナー

講演 メインテーマ **糖尿病の合併症
～神経障害・腎症を中心に～**

日時 平成30年 **10月20日** 土 14:00～16:30

会場 国立病院機構 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階 講堂

座長 国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病内科科長 **瀧 秀樹**

講演内容

第1部 **糖尿病が神経に与える影響とは**
国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病内科 医師 **益田 貴史**

第2部 **足を守るためにしてほしいこと**
国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病認定看護師 **福山 雅代**

第3部 **糖尿病で腎臓が悪くなるってどういうこと?**
国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病内科 医師 **光井 絵理**

第4部 **糖尿病食と糖尿病腎症食の違いとは?**
国立病院機構 大阪医療センター 栄養管理部 主任栄養士 **宗本 由香**

▶ 質問に対する回答 いただいた質問に回答します。
時間の関係上、全ての質問にお答え出来ない場合がございますのでご了承ください。

▶ 次回開催予定 **平成31年2月2日(土)〈形成外科、乳腺外科〉**

お問い合わせ 国立病院機構 大阪医療センター 地域医療連携室 衣斐
TEL 06-6942-1331(代)

た糖尿病性腎症は第1期から第5期まであり、いかに早い段階できちんとした管理を行うことが大切かを話しました。

講演の第4部は、「糖尿病食と糖尿病腎臓食の違いとは？」というテーマで、当院主任栄養士の宗本由香管理栄養士が担当しました。外来で行っている糖尿病透析予防指導の現状や、糖尿病食と糖尿病腎臓食の違いに関して調理上の工夫を織り交ぜながら分かりやすい説明がありました。

最後の質問コーナーでは、各演者より回答を行いました。たくさんの質問を頂き有難うございました。当日の参加者は、院外114名、院内4名の合計118名もの方々にご参加いただき、糖尿病への関心の高さへの表れだと感じました。

最後に本セミナーの企画、進行に協力していただいた方々、講演者、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



第72回 国立病院総合医学会参加報告

国立病院機構 大阪医療センター 事務部

経営企画室長 川邊 浩史、業務班長 向平 昌浩、外来係長 近藤 康之、
経営企画係長 中野 芳紀、給与係長 井尻 亜矢子、給与係 柳町 都

平成30年11月9日、10日に神戸で開催された第72回国立病院総合医学会にて、事務部から計5つのポスター発表を行いました。

高松市で開催された前年の国病学会では事務部からの発表はゼロでしたが、翌年の神戸開催での発表を見据えて複数名が聴講参加しており、いよいよその本番がやってきました。

5つの発表テーマは、①アドベンチャーホスピタル、②医療事故調査制度の事務処理、③外来診療等における待ち時間、④訪日外国人患者の診療、⑤診療科別収支の作成、と多岐に渡っており、幅広いテーマについて発表が出来たと思います。

5月に抄録登録してからの時間の経過は思った以上に早く、最後は演者全員がかなり焦りながらもポスターを完成、本番一週間前の事務部内でのプレ発表会を経て当日に臨みました。

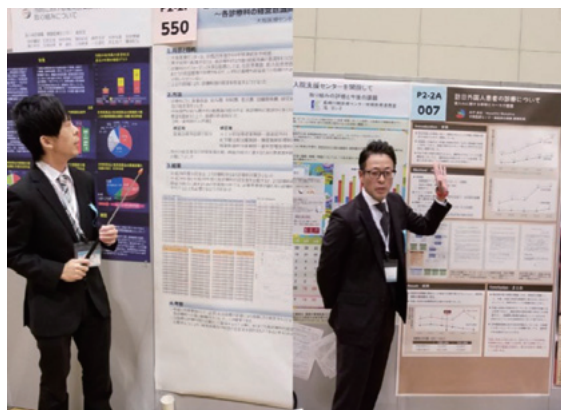
5つの発表のうち、1つは演者の前施設での経験談でしたが、残りの4つは何れも当センターならではのイベントや事務部で現在取り組んでいる課題、前年以後に成果をあげた取り組み事例に関するもので、聴講された他施設職員からの反応も上々でした。いずれの発表も座長だけではなく聴講者からの質問があり、出番が終わった後でも個別に質問に来られるなど、当院の発表内容に多くの方が興味を持って下さったように感じました。また、類似の発表を行った他施設の演者とは、セッション終了後も活発な意見交換が行えました。

今回は神戸開催ということもあり、演者以外にも多くの事務部職員が会場に参加し、演者にとっては発表前～発表中に至るまでの心強いサポーターとなりました。

終了後の率直な感想として、学会での発表という事務職員にとっては日頃経験することのない慣れないプレッシャーからの解放感は格別で、発表自体は別々であったものの、仲間と同じゴールに向かって取り組んだからこそ味わえた達成感も非常に大きなものがありました。

今回の国病学会での発表に向け、既にテーマを温めている職員もいます。今回の学会への参加を大きなきっかけとし、次回以後も各人にとって実りのある国病学会となることを願います。

(代表執筆：経営企画室長 川邊浩史)



平成30年度第8回大阪市中央区地域ケア研究集会への参加報告

国立病院機構 大阪医療センター 医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 太田 裕子

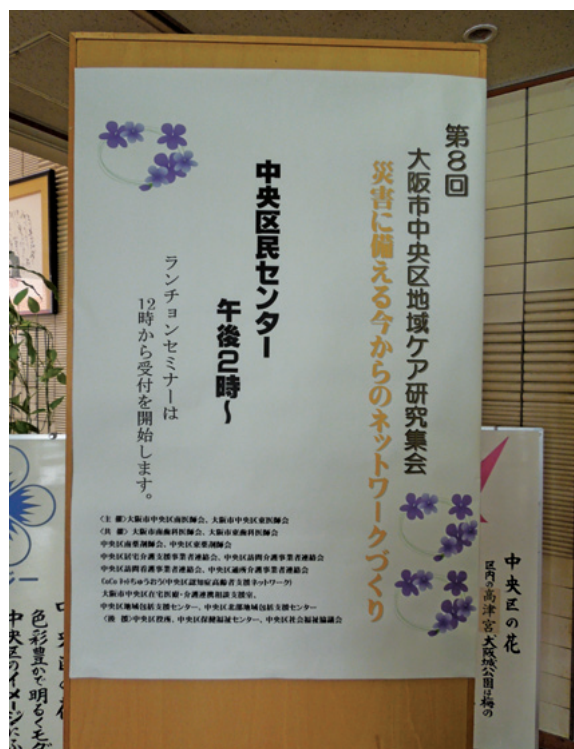
平成30年12月1日（土）12時30分から17時30分の時間帯で、第8回大阪市中央区地域ケア研究集会（主催：大阪市中央区南医師会、大阪市中央区東医師会）が、中央区区民センターにて開催され参加させていただきました。大阪市中央区では、平成23年度から医師会の主催で「中央区地域ケア研究集会」が毎年開催されています。医師、歯科医師、薬剤師、居宅介護支援事業者、通所介護事業者、訪問介護事業者・訪問看護事業者、地域包括支援センター、社会福祉協議会、区役所の関係者など多職種が集まり、意見交換を行う場となっています。

今年度のテーマは、『災害に備える今からのネットワークづくり』と案内を受け、参加対象は、中央区において医療・介護・福祉に従事されている方とされており、日頃からお世話になっている関係機関の方々と一緒にさせていただきました。

ランチョンセミナーでは、管理栄養士より『災害と食事』 歯科衛生士より『災害時の口腔ケア』

と題し、ライフラインの状況に合わせた食事、不足しがちな栄養素、食欲低下から招かれる健康不良、高齢者に食べやすい食事の工夫、災害時の簡単料理、栄養士による被災者支援報告、災害時の口腔ケアなど紹介されました。災害保存食（マジックライス炊き出し用梅じゃこご飯）をいただきました。

事例の報告では、6題の発表がありました。中央区東歯科医師会から『歯科との連携で白質脳症の利用者に在宅歯科治療を行っている症例』の報告がありました。「この症例の課題として、HIV感染症を有する患者であり、支援事業者を得るのが困難である中、訪問看護師さんが橋渡しとなり、本人をとりまく関係機関が増え生活状況の改善につながっている。しかし、将来的にこの状況の維持は容易ではないと思われる。類似する症例に同様の支援が得られるよう我々支援者の感染症に対する意識改革が必要である。」と歯科医師の立場から発信いただいたこと、症例報告を通して、地域



の受け皿の土台とネットワークの凄さ、地域関係者の懐の深さを共有できる機会に感激しました。

講演とグループワークでは、中央区役所市民協働課より「災害に備える中央区の体制と取組」、KZ総合防災企画より「災害に備える今からのネットワークづくり」と題して講演がありました。日頃からの備えとして、長時間の停電への対応、長時間の水道停止への対応、長時間の電話不通への対応、被害状況の確認連絡、特例通知等の把握、医療機関の平時からの協定締結の必要性について（大阪府健康医療部保健医療室長平成30年10月11日通知）、病院関係・施設・事業所等の災害対策本部は運営できるか、各団体の災害対策本部は立ち上げられるのか等、わかりやすくお話を伺うことができました。

まずは個人レベル、病院、施設、事業所等（組織）レベル、市・中央区、地域レベルでの災害の備えを確実にしていくこと、中央区に起こる災害とその備え、災害時の専門職の動き、被災した要

援護者へのケアをどう連携してどう継続するのか、医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業者連絡会、訪問介護事業者連絡会、訪問看護事業者連絡会等の参加者がグループワークでディスカッションをしました。

ディスカッションにて話題となったのは、支援者となる専門職同士の安否確認方法、要援護者の安否確認方法において複数の職種が重ねて安否確認する可能性もあり、どのような方法が有効なのか等、これからの課題としてあがっていました。

病院・医院・事業所等で防災対策の充実に取り組み、区単位で医療・介護の連携できる仕組みづくり、区内関係者での情報共有の仕組みと施策が急務であることを共有しました。

日頃からの医療・介護・福祉におけるネットワークづくりが、災害時も活用できるネットワークとなるように、仕組みづくりをすすめることの重要性を多職種での交流を通して認識させていただきました。



脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したのではなく、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL: 06-6942-1331 (代)

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

NHO PRESS ~国立病院機構通信~について

大阪医療センターは、国立病院機構（NHO: National Hospital Organization）という141の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS~国立病院機構通信~』を発行しています。

ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、ぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。



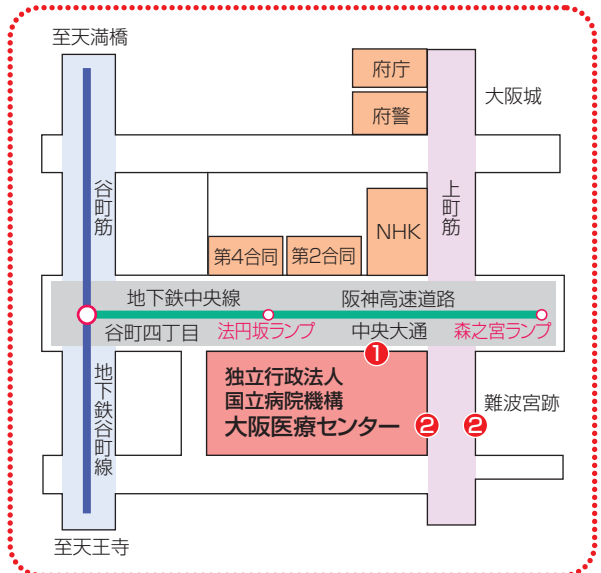
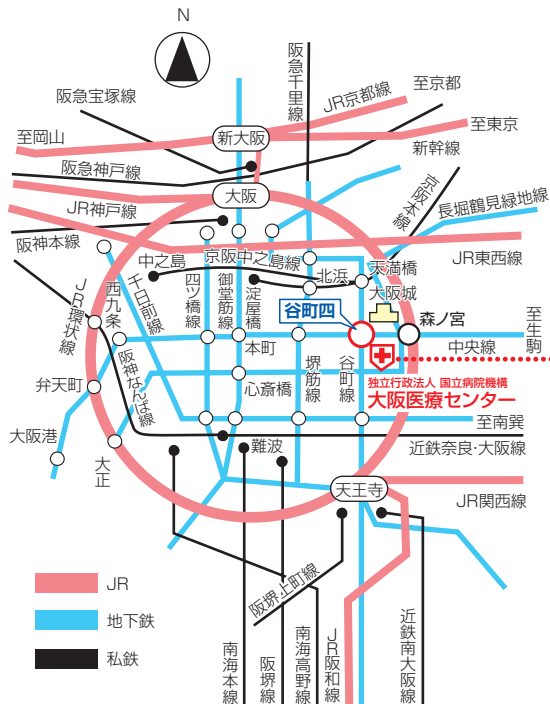
NHO PRESS

検索

QRコード



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え
「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。